

## 4種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ）予防接種について

この予防接種は、予防接種法に基づき、乳児期にジフテリア、百日せき、破傷風、急性灰白髄炎の免疫を得るために実施するものです。必ず、本紙をよく読んでから、委託医療機関で接種を受けてください。

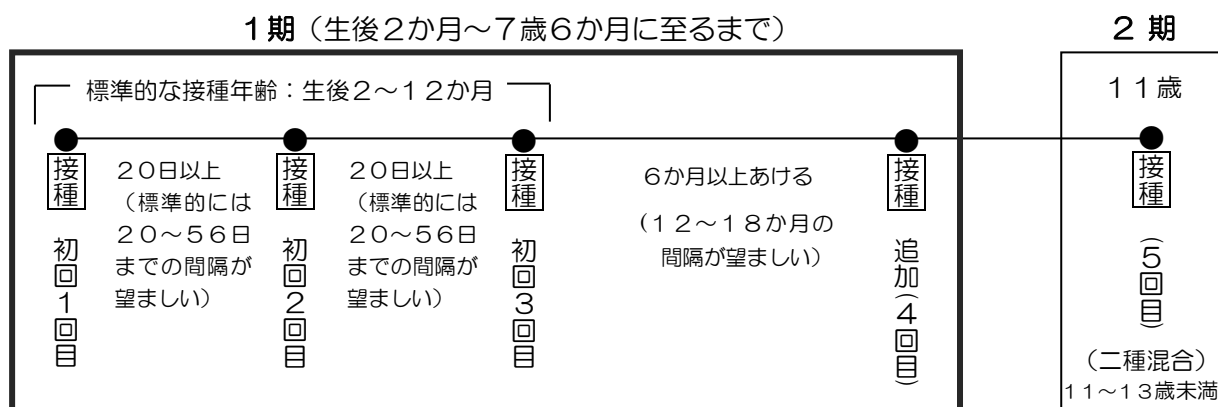
### もちもの

☆母子手帳 ☆予防接種受診票  
健康保険証 子育て支援医療費受給者証

### 対象者

生後2か月～7歳6か月に至るまでの間にある者

### 接種回数と間隔



### 副反応

予防接種は、重篤な病気の発生や流行の阻止に大きな成果をあげていますが、ごくまれに副反応をおこすことがあります。接種部位の発赤・しこり・腫脹、発熱などがみられます。反応は自然に治まりますが1か月以上残ることもあります。まれに生じる重い副反応としては、ショック、アナフィラキシー様症状（呼吸困難・血管浮腫など）、けいれんなどがあります。

定期の予防接種の副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。

## 病気の概要

- ①百日せき：百日せき菌が咳などで飛沫したときに感染します。乳幼児にかかりやすく、特に夜間に激しい咳の発作が起こることがあります。咳がひどくなると、呼吸ができずにチアノーゼやけいれんをおこすことがあります。また、脳症を起こして重い後遺症を残したり、乳児では死に至ることもあります。
- ②ジフテリア：ジフテリア菌が咳などで空気中に飛沫したとき、のどや鼻から感染します。症状は高熱、のどの痛み、犬が吠えるような咳、おう吐などです。おう吐物などで窒息死することや、菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻痺をおこして死亡することのある恐ろしい病気です。
- ③破傷風：破傷風菌は、土の中に潜んでいます。患者の半数は、自分では気がつかない程度の軽い傷口が感染の原因です。傷口から菌が入り体の中で増えると、菌の出す毒素のために、唇や手足のしびれが初期に起こり、その後、口が開きにくくなったり、けいれんをおこし、死亡することもあります。日本中どこの土の中にも破傷風菌はいます。
- ④ポリオ：ポリオウイルスはヒトからヒトへ感染します。感染したヒトから排出されたウイルスが口から入り、腸で増殖します。多くの場合、症状はありませんが、手足に麻痺があらわれることがあります。麻痺は後に残ることが多く、呼吸筋が麻痺すると死亡するおそれもあります。

## 注意点

- (1) 予防接種は健康な人が元気な時に接種を受け、その病原体の感染を予防するものです。体調の良い時に受けることが原則です。お子さんの体調をよく理解した保護者がお連れください。
- (2) 予防接種を受けることができない人
  - ① 明らかに発熱（通常37.5度以上）している人
  - ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
  - ③ 予防接種等によりひどいアレルギー反応を起こしたことがある人
  - ④ その他、医師が不適当な状態と判断した場合
- (3) 予防接種を受けるに際し、主治医とよく相談しなくてはならない人
  - ① 心臓病・腎臓病・肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている人
  - ② 過去の予防接種2日以内に発熱・発疹等のアレルギーを思わせる異常がみられた人
  - ③ 過去にけいれんをおこしたことがある人
  - ④ 免疫不全があると指摘されたことがある、及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
  - ⑤ ワクチンの成分に対して、アレルギーをおこすおそれのある人
- (4) 予防接種を受けた後の一般的注意事項
  - ① 副反応の多くは1週間以内に出現しますので、この間は体調に十分注意しましょう。
  - ② 入浴は差し支えありませんが、注射部位を強くこすることはやめましょう。
  - ③ 接種当日はいつもどおりの生活をしてもかまいませんが、激しい活動は避けましょう。

<問い合わせ先>  
子育て支援課 0774-64-1377(直通)

